

一般質問 久保忠一

総合医療特区について

問 鴨川市と亀田グループ共同で鴨川市での地域活性化総合特区を政府に申請したが、却下された。その理由と今後の対応について。

答 事業関係チームの練度が高く、高い実現性があり、周辺産業の雇用を増やす可能性があるものの、独自性・先駆性に欠けるなどの厳しい評価でした。ただ、政府が策定した日本再生戦略や医療イノベーション5か年戦略の中で事業の伸展が期待できることから、総合特区の取組みについては、一旦断念します。

市への提言 鴨川の魅力

ある医療資源等を持って、関連企業にアピールし産業振興を図れるよう、今後市も応援して頂きたい。

鴨酪跡地について

問 鴨酪跡地に東条地区の幼保一元化する構想の予算と財源は

答 未だ検討段階ですが、定員も二五〇名を超える

と想定され、多額の予算を要するため、財源は国県補助金の活用と併せ、有利な地方債を活用するようにします。

問 その場合、北部道路ほかの連絡道路整備の計画及び、ミルク組合所有地以外の土地の購入予定は

答 みるく農協が工場敷地として一体的に利用していた隣接の民有地は購入予定ですが、北部道路からの連絡道整備及び予定地周辺のその他土地の取得は、現在計画はないが、今後子供達の安全を第一に考え、配慮していきます。

問 現東条幼稚園跡地の有効利用については

答 小学校に隣接する立地であり、今後東条小学校の児童の増加も予想されるので、現在、小学校の教室を利用して行っている学童保育を、現幼稚園において、実施していくことが想定されます。

問 現東条保育園は

答 十九年度改築した遊戯室の償還残高が二十三年度末で二千八百万円余りですが、売却も含め検討

することになります。

問 今後の幼保一元化や学校統合と喫緊の津波対策との関係性と財源について

答 海沿いの江見大海保育園などの移転も、天津保育園同様津波、安全対策第一というところで、迅速に行うべきと考えるが。

問 第二次鴨川市学校適

答 性規模検討委員会にて、津波対策等も視野に入れ、教育環境の創出を最優先に審議した結果、旧江見中学校校舎を改修して江見地区3小学校の統合、6箇所幼稚園及び保育園は幼保一体型施設とすると、去る十一月二十一日に答申を頂き早期実現を推進して参ります。

問 統合をする教育的メリットは

答 複式学級の解消により、子供の健全な競争意識や集団生活での社会性を体得でき、幅広い人格・資質の形成に、より有益と考えております。

問 財源について伺う。

答 公立学校施設整備費国庫負担金の、耐震補強は補助率1/2を、中学から

小学校への大規模改修工事部分では補助率1/3が見込まれ、幼保一元化施設整備の幼稚園部分も、同交付金の活用が見込まれます

問 いじめ問題など子供たちを取り巻く教育問題について

答 一だと考ええるが、どのように取り組んでいるか。

問 「生活ノート」など毎

答 日のやりとりを通し、生徒個々の悩み等の相談、臨時の個別面談などの対応を行う一方、日夜研修を計画的・継続的に行っています。

問 全国で深刻ないじめ問題が起きているが、教育委員会では新たにどのような取り組みをしているのか。

答 各小中学校に対し細やかな目配り気配りを指示する一方、保護者や地域、関係機関との連携強化に努めています。また、各家庭に天津小湊公民館内に設置している「家庭教育相談室」や市総合保健福祉会館内の「家庭児童相談

室」等の「教育相談機関」周知のための便りを発行し、保護者や生徒の悩みや心配事に対応しています。

問 究極的にいじめの深刻化は先生の権威の低下に一因があると考えるが

答 学校への多様化した要求に苦慮する姿などに権威の低下と見られる現象がありますが、教師自らの努力により力量を高めることが重要です。生徒達に夢や希望を与えられるよう、保護者や地域の皆様にも教師の熱意を支えて頂けるようお願いいたします。

問 先生が抱え込み過ぎ

答 ず、医療関係専門家、児童相談所、家裁、捜査機関なども連携して対応できるように、システム作りをしたらどうか。

問 既存の子供安全対策

答 センターをより有効に運用できるようにしていきます。

市への提言いつでも深刻な

事態に対応できるようにケーススタディー等行い実体の伴う組織として頂きたい。